

鉄鋼環境 基金ニュース

2016年10月28日

第61号

主な掲載内容

I. 第37回(2016年度)環境研究助成の決定について

I. 第37回(2016年度)環境研究助成の決定について

(公財)鉄鋼環境基金は、10月27日(木)に第25回臨時理事会を開催し、2016年度研究助成事業として一般助成研究:40件、若手助成研究:17件、合計:57件の研究に対して総額75.4百万円の助成金交付を決定いたしました。

2016年度の助成研究は、応募総数177件(一般:137件、若手:40件)の中から環境分野の学識経験者と鉄鋼業界の専門家で構成された技術委員会(委員長:坂本和彦 アジア大気汚染研究センター所長・埼玉大学名誉教授)の厳正な審査により選定されました。

なお、当財団の研究助成事業は、1973年の設立以来、累計で1,737件 40億12百万円となっております。

(1)2016年度の応募・助成の概要

2016年度の応募・助成の概要は以下のとおりです。(括弧内は昨年度実績)

1. 応募総数は177件(193件)と昨年度に対して16件減少した。
2. 助成件数は57件(56件)であり、応募件数に対して32%(29%)が採用された。
3. 継続研究は応募件数31件(30件)に対して26件(24件)が採用された。応募に対する採用率は84%(80%)である。
4. 新規研究は応募件数146件(163件)に対して31件(32件)が採用された。応募に対する採用率は21%(20%)であった。
5. 新規研究のうち、初めて応募した研究者は54名(68名)であり、また、初めて助成を受ける研究者は18名(18名)が採用された。
6. 若手研究は応募件数が40件(29件)に対して17件(12件)が採用された。応募に対する採用率は43%(41%)であり、助成件数の30%(21%)となっている。
7. 大学からの応募は145件(157件)であり、このうち48件(44件)が採用された。
8. 高等専門学校からの応募は9件(19件)であり、このうち1件(5件)が採用された。
9. 独立行政法人他団体からの応募は23件(17件)であり、このうち8件(7件)が採用された。

	応募件数			助成件数		
	一般	若手	合計	一般	若手	合計
大気	41	8	49	17	1	18
土壌・水質	49	17	66	15	9	24
副産物	25	8	33	5	4	9
地球環境	16	5	21	2	3	5
エコプロセス他	6	2	8	1	0	1
合計	137	40	177	40	17	57

(2) 第37回(2016年度)助成研究テーマ一覧

分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属(大学・研究機関等)	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間
大 気	1	一般	忽那 周三	(国研)産業技術総合研究所 環境管理研究部門	マイクロバブルとアルカリ水による代替フロン の省エネルギー処理システムの開発	1,500	継続 2-2
	2	一般	財津 慎一	九州大学大学院 工学研究院応用化学部門	共振器増強光周波数コムラマン分光法による放射 性水素同位体の高感度検出法の開発	1,400	継続 2-2
	3	一般	関口 和彦	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門	マイクロバブリングによる VOC ガスと微小粒子 の液相捕捉処理技術の開発と応用	1,500	3-1
	4	一般	川本 克也	岡山大学大学院 環境生命科学 研究科	水銀および有機物等含有排ガスへの最適活性 炭吸着適用方法の開発	1,400	2-1
	5	一般	高岡 昌輝	京都大学大学院 地球環境学	排ガス中水銀除去用吸着材の開発及び脱着機 構の解明	1,500	継続 2-2
	6	一般	坪内 直人	北海道大学大学院 工学研究院 附属エネルギー・マテリアル融合 領域研究センター	製鉄プロセスに係わる水銀の発生挙動と排出 抑制	1,500	3-1
	7	一般	王 青躍	埼玉大学大学院 理工学研究科	春秋季における花粉アレルギー微小粒子の飛 散情報と生体毒性の解析	1,500	継続 3-2
	8	一般	田中 茂	慶應義塾大学 理工学部 応用 化学科	フィルターを用いない荷電ミスト噴霧による PM2.5(微小粒子)の除去処理装置の試作と性 能評価	1,500	継続 2-2
	9	一般	松田 和秀	東京農工大学 農学部附属広域 都市圏フィールドサイエンス教育研究セ ンター	PM2.5 予測精度向上のための森林への沈着・ 除去メカニズムの解明	1,500	継続 2-2
	10	一般	山本 剛	九州大学大学院 工学研究院 化学工学部門	高効率連続再生式 PM2.5 除去装置の開発とそ の低温下に関する研究	1,500	継続 2-2
	11	若手	本田 晶子	京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻	PM2.5 健康影響決定成分・要因の特定 一粒子 と化学物質成分の複合影響評価	1,000	継続 2-2
	12	一般	葛西 栄輝	東北大学大学院 環境科学研究 科	焼結排ガス中ダストの形態・濃度に及ぼす凝結 材種および賦存状態の影響	1,500	3-1
	13	一般	大下 慶次郎	東北大学 高度教養教育・学生 支援機構	ナノ粒子イオンの凝集過程観測装置の開発と PM2.5 生成機構の研究	1,500	2-1
	14	一般	倉田 学児	京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻	アジア地域からの大気汚染物質排出量と削減 ポテンシャルの将来推計	1,500	2-1
	15	一般	定永 靖宗	大阪府立大学大学院 工学研究 科	東アジアから越境輸送される粒子状・ガス状有 機硝酸の観測	1,500	2-1
	16	一般	鳥羽 陽	金沢大学 医薬保健研究域	大気粒子中に存在する多環芳香族炭化水素キ ノン類の粒径分布と毒性評価	1,500	2-1
	17	一般	持田 陸宏	名古屋大学大学院 環境学研究 科 地球環境科学専攻	気体置換技術を応用する大気粒子態有機物の エイジングに関する実験研究	1,500	2-1
	18	一般	西田 千春	福岡大学 福岡から診る大気環 境研究所	PM2.5 含まれる水溶性金属成分の大気中濃度 と酸化能への寄与	1,400	1-1
土 壤 ・ 水 質	19	一般	楠井 隆史	富山県立大学 工学部	WET 試験用の小規模海産生物種試験バッテリ ーの開発と感受性評価	1,500	継続 3-2
	20	一般	寺田 昭彦	東京農工大学大学院 工学研究 院	亜酸化窒素を同化可能な淡水性シアノバクテリ アの獲得と新規排水処理技術への利用可能性 評価	1,400	2-1

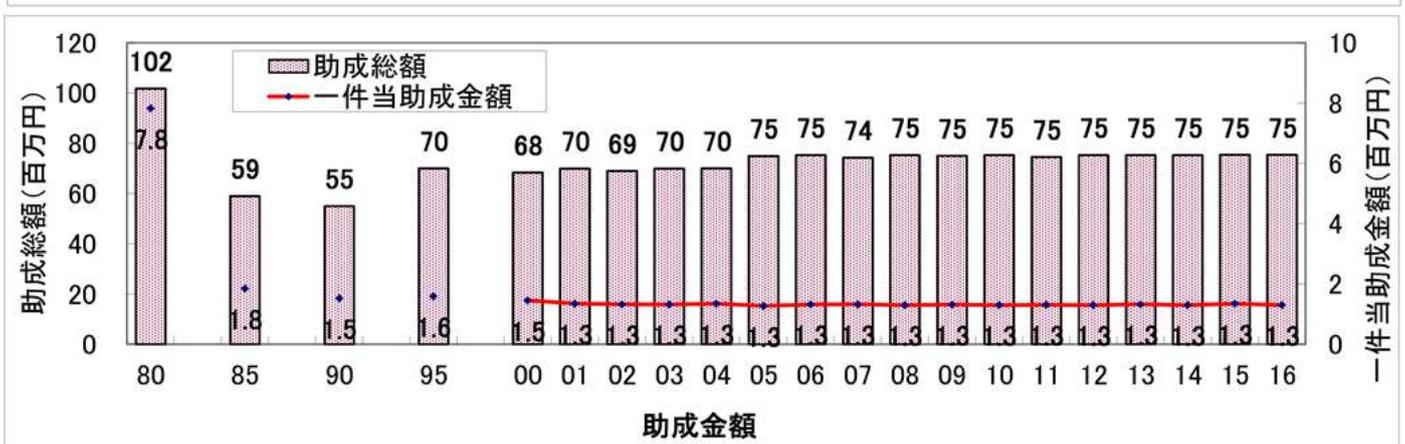
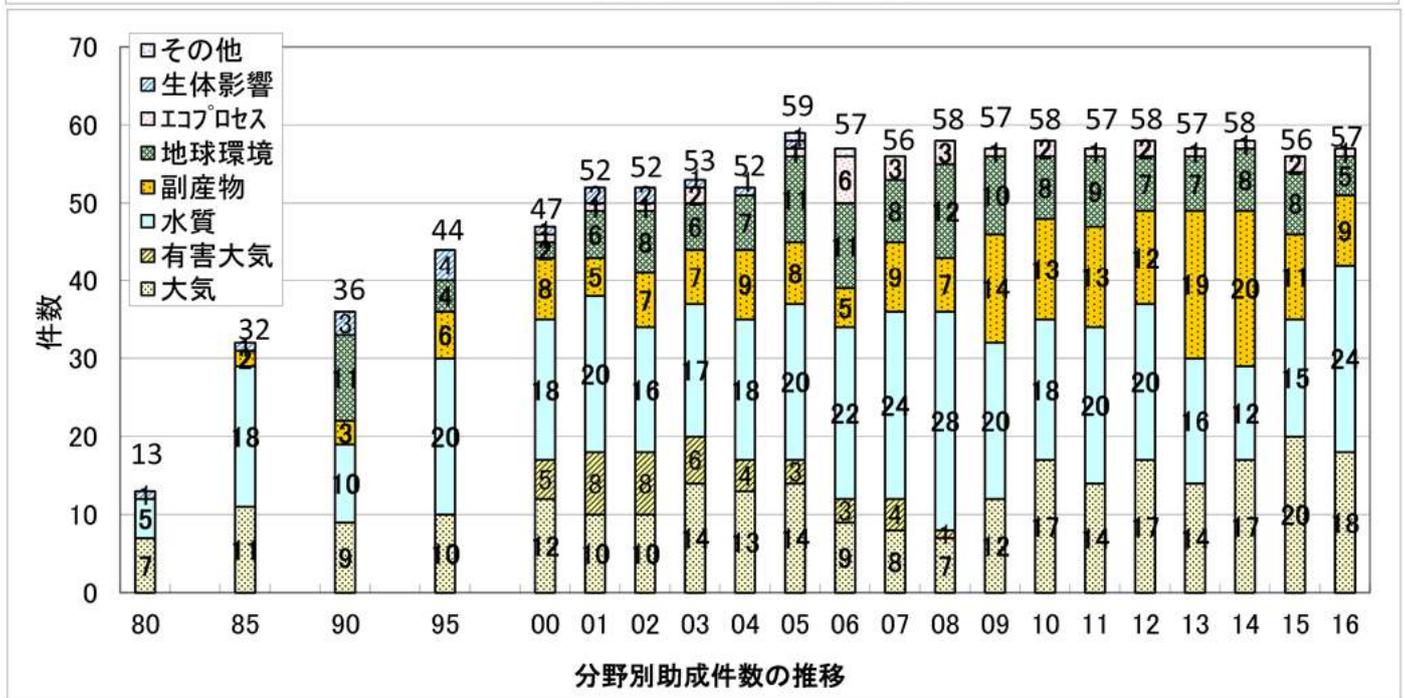
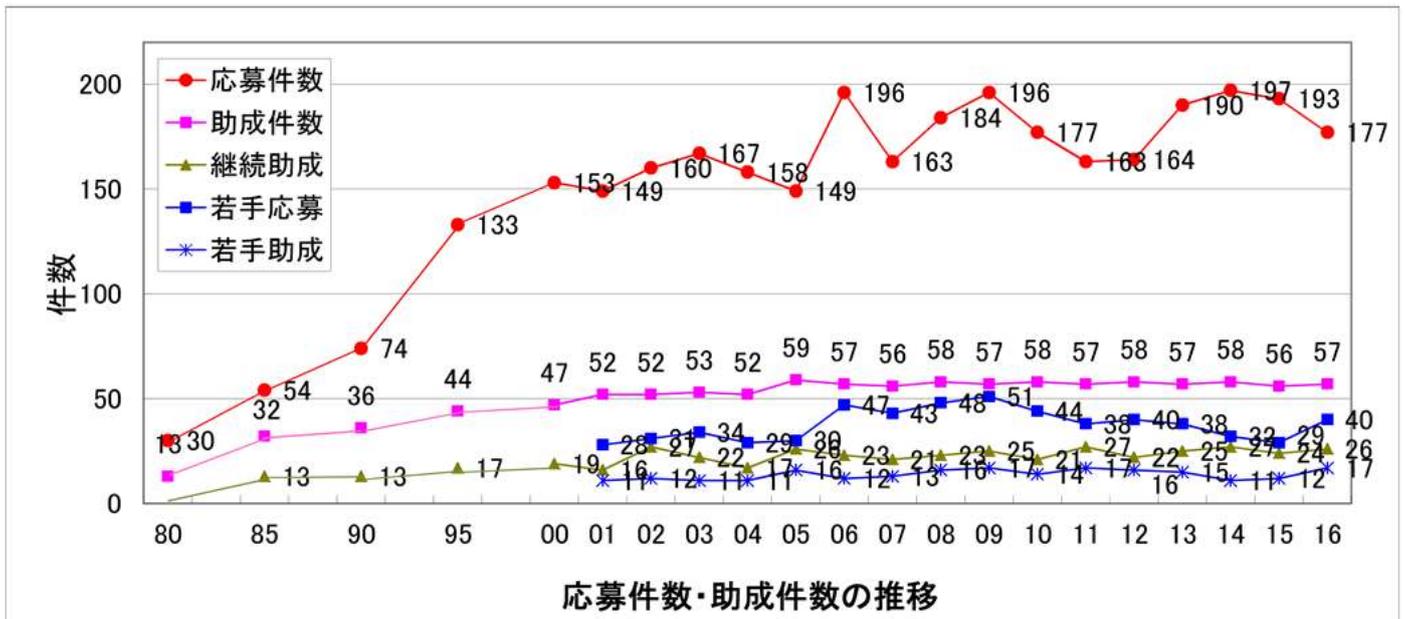
分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属(大学・研究機関等)	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間
土 壌 ・ 水 質	21	一般	愛澤 秀信	(国研)産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 環境管理 研究部門	水処理膜ファウリング迅速検知システムの開 発	1,500	2-1
	22	一般	藤田 昌史	茨城大学 工学部 都市システム工 学学科	創エネ型の有機物・窒素同時除去フェノール系 排水処理手法の開発	1,500	2-1
	23	若手	飯塚 淳	東北大学 多元物質科学研究所	メタエトリンガイトを利用した水中のホウ素・フッ 素除去	1,000	2-1
	24	若手	方 毓	東北大学大学院 環境科学研究科	キャビテーション支援プラズマ照射の応用による 排水処理法と環境負荷低減	1,000	2-1
	25	若手	石井 陽祐	名古屋工業大学大学院 工学 研究科	電気化学反応を利用した亜鉛含有排水の新規 浄化法の開発	1,000	継続 2-2
	26	若手	林 文隆	信州大学 工学部 物質化学科	高機能性無機結晶を用いた排水・環境水からの 希金属イオンの選択回収	1,000	継続 2-2
	27	一般	岩堀 健治	奈良先端科学技術大学院大 学 物質創成科学研究科	含塩金属廃液からのダイレクト金属回収とナノ マテリアル作製技術の創成	1,500	2-1
	28	一般	飯野 隆夫	(国研)理化学研究所 バイオリ ソースセンター 微生物材料 開発室	金属腐食を引き起こす微生物の新規モニタリン グ技術の開発	1,500	継続 3-2
	29	一般	田上 恵子	(国研)量子科学技術研究開 発機構 放射線医学総合研 究所 廃棄物技術開発研究チ ーム	土壌・農作物中の希土類元素等レアメタル存 在量調査と農作物移行量推定モデルの開発	1,400	継続 2-2
	30	一般	八木 孝司	大阪府立大学大学院 理学系 研究科	土壌重金属のエピジェネティックな活性評価法 の確立	1,500	継続 2-2
	31	若手	山岡 香子	(国研)産業技術総合研究所 地質情報研究部門	カドミウム・鉛同位体を用いた環境汚染評価手 法の開発	1,000	継続 2-2
	32	一般	鈴木 祐麻	山口大学大学院 理工学研究 科 環境共生系専攻	土壌中金属酸化物の高い重金属吸着性に着 目した先駆的汚染土壌浄化技術の開発	1,500	2-1
	33	若手	利谷 翔平	東京農工大学 工学部化学シ ステム工学科	穀殻を活用したヒ素汚染土壌浄化プロセスの 開発	993	1-1
	34	若手	井上 謙吾	宮崎大学 農学部 応用生物 科学科	鉄還元菌を利用した嫌気性環境汚染物質分解 技術の開発	1,000	2-1
	35	若手	神谷 岳洋	東京大学大学院 農学生命科 学研究	イネ変異株を用いた重金属吸収・蓄積機構の 解明と応用展開	1,000	2-1
	36	若手	中村 謙吾	東北大学 環境科学研究科	地盤中卓越流路を考慮した重金属類溶出・移 動性の評価手法の開発	1,000	1-1
	37	一般	中島 典之	東京大学大学院 工学系研究 科 都市工学専攻	遺伝子発現および代謝産物の網羅的解析に基 づく汽水産底生甲殻類への影響要因推定手法 の開発	1,500	継続 3-2
	38	一般	益永 茂樹	横浜国立大学大学院 環境情 報研究院	海域における銅の生物利用可能性を考慮した 生態リスク評価	1,500	継続 3-2
	39	一般	金田一 智規	広島大学大学院 工学研究院 社会環境空間部門	膜分離とヒドロキシルアミン添加制御による一 槽型アナモックスの構築と処理の安定化	1,500	継続 2-2
	40	一般	松尾 基之	東京大学大学院 総合文化研 究科 広域科学専攻	鉄の化学状態と放射性セシウムを指標とした 貧酸素水塊環境下にある東京湾底質の堆積 環境	1,500	継続 2-2

分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属(大学・研究機関等)	研究テーマ	助成金額 (千円)	研究期間
土壌・水質	41	一般	井上 徹教	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域	閉鎖性海域への鉄鋼スラグ利用時における鉄成分の効果の抽出	1,500	2-1
	42	一般	吉村 和久	九州大学 アイソトープ統合安全管理センター	閉鎖海域での溶存鉄の化学種別動態と生物との関わり	1,400	2-1
副産物	43	一般	澁谷 啓	神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻	交通荷重を受ける鉄鋼スラグ混合盛土の長期変状に関する研究	1,500	継続 2-2
	44	若手	高 旭	東北大学 多元物質科学研究所	水田土壌改良材としての製鋼スラグのデザインニング	1,000	継続 2-2
	45	一般	名和 豊春	北海道大学大学院 工学研究院	エマルジョンとナノ粒子による高炉スラグ硬化体の初期強度・耐凍害性の改善	1,500	3-1
	46	一般	三木 理	金沢大学理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	カルシア改質土による微細藻類の発生抑制と機構解明	1,500	3-1
	47	一般	川本 健	埼玉大学大学院 理工学研究科 戦略的研究部門	再生資材を活用した廃棄物処分場バイオカバーのガス交換機能の評価	1,500	2-1
	48	一般	山本 光夫	東京大学 海洋アライアンス	褐藻への鉄吸収量増加に寄与する有機物の特性評価	1,400	2-1
	49	若手	鈴木 道生	東京大学大学院 農学生命科学研究科	鉄鋼スラグの藻場造成資材としての高度利用	1,000	2-1
	50	若手	谷 春樹	名古屋大学大学院 工学研究科 物質制御工学専攻	高炉スラグを用いた廃プラスチックの油化技術の開発	1,000	1-1
	51	若手	松村 聡	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地盤研究領域	鉄鋼スラグを用いたリサイクル地盤材料の沿岸域利用に向けた長期安定性評価	1,000	2-1
地球環境	52	一般	埜上 洋	東北大学 多元物質科学研究所	低炭素操業下の高炉融着帯の溶融・流動制御技術開発	1,000	継続 3-3
	53	一般	植木 保昭	名古屋大学 未来材料・システム研究所 システム創成部門	コークスの燃焼・ガス化挙動および燃焼・ガス化過程における灰粒子特性の解明	1,125	継続 2-2
	54	若手	小屋畑 勝太	八戸工業高等専門学校 教育研究支援センター	未利用工業排水に適用する円形管路用下掛け水車の実証試験とその展開	1,000	継続 2-2
	55	若手	藤木 淳平	(公財)地球環境産業技術研究機構 化学研究グループ	二酸化炭素分離回収用高性能モレキュラーシービングカーボンの設計・開発	1,000	継続 2-2
	56	若手	中川 鉄水	琉球大学 理学部 海洋自然科学科	水素吸蔵合金を利用した CO ₂ からの低温・低コストメタン化触媒の開発	1,000	2-1
エコプロ	57	一般	今中 信人	大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻	高性能環境触媒を用いた一酸化炭素ガスの迅速検知並びに安全浄化	1,500	継続 3-2

注 1) 若手: 2016 年 4 月 1 日現在の満年齢が 39 歳以下の研究者
(ただし、研究期間 2 年計画の初年度は 38 歳以下の研究者)

注 2) 研究期間: a-b; 研究期間 a 年中 b 年目、継続; 継続案件

(3) 鉄鋼環境基金の助成実績



事務局だより

役員の変更

【評議員の変更】

辞任 (平成 28 年 9 月 20 日付)

森崎 隆善 中部電力株式会社火力発電事業部業務グループ長 部長

森岡 健児 大同テクニカ株式会社知多事業所取締役 生産第二部部长

就任 (平成 27 年 6 月 23 日付)

小川 喜弘 電気事業連合会立地環境部長

竹鶴 隆昭 大同特殊鋼株式会社執行役員 環境部長

【理事の選任】

就任 (平成 28 年 6 月 20 日付)

鈴木 英夫 新日鐵住金株式会社常務執行役員

伊吹 隆直 一般社団法人日本鉄鋼連盟技術・環境本部長

松本 剛 JFEスチール株式会社スラグ事業推進部長

泥 俊和 株式会社神戸製鋼所環境防災部担当部長

再任 (平成 28 年 6 月 20 日付)

坂本 和彦 アジア大気汚染研究センター所長・埼玉大学名誉教授

指宿 堯嗣 一般社団法人産業環境管理協会技術顧問

脇本 眞也 一般社団法人日本鉄鋼協会専務理事

野口 計 日新製鋼株式会社技術総括部環境・省資源推進室長

中島 康久 公益財団法人鉄鋼環境基金事務局長

【代表理事の選任】

就任 (平成 28 年 6 月 24 日付)

理事長 鈴木 英夫 新日鐵住金株式会社常務執行役員

専務理事 中島 康久 公益財団法人鉄鋼環境基金事務局長

鉄鋼環境基金ニュース 第61号

2016年10月28日発行

発行所：(公財) 鉄鋼環境基金

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 6階

Tel : 03-5652-5144 Fax : 03-5641-2444

E-mail : sept.senmu@sept.or.jp

URL : <http://www.sept.or.jp/>

発行人：専務理事・事務局長 中島 康久